MINOURA

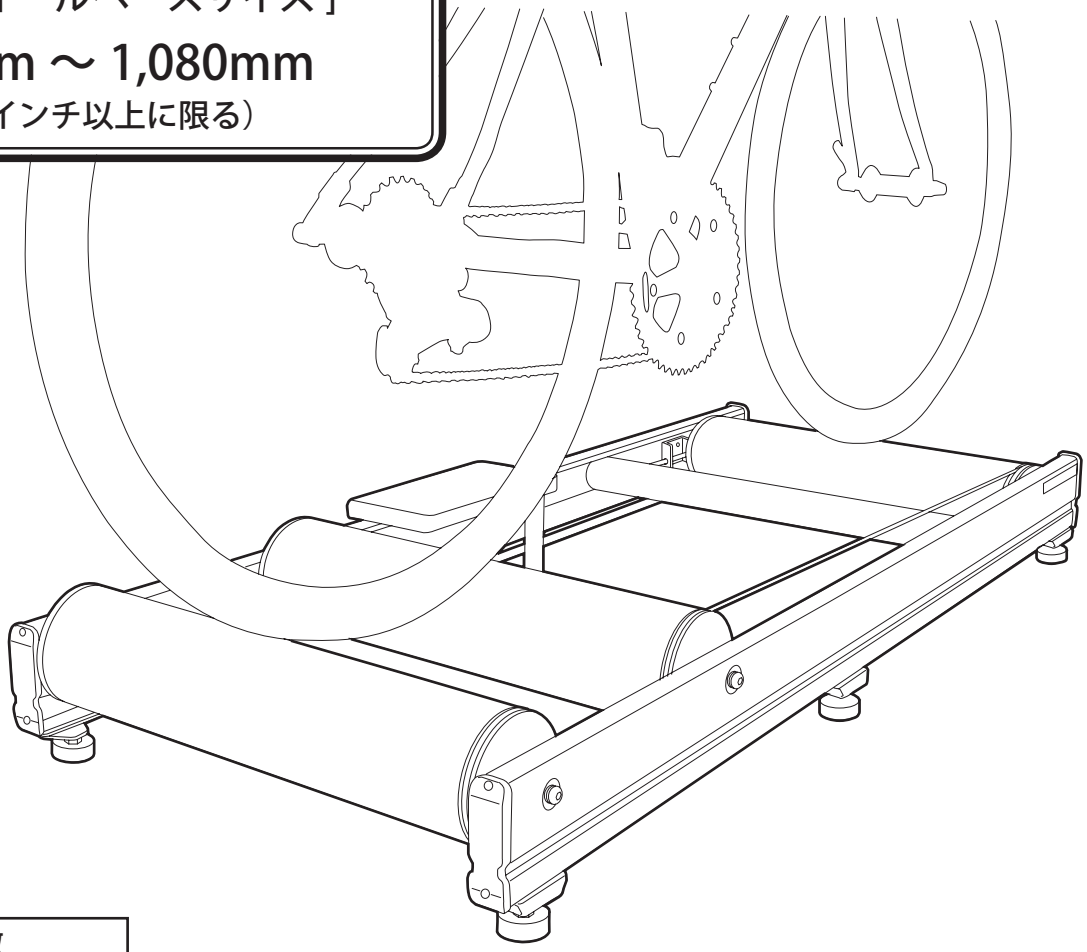
自転車用 3 本ローラー台 Live Roll R800
取扱説明書

(ver.1.0 2013/7)

[適合ホイールベースサイズ]

950mm ～ 1,080mm

（26 インチ以上に限る）



主な特徴

●新設計の大型・高強度のアルミ製フレーム。高速走行にも対応するため、あえて折り畳み機構は持ちません。
●３本のローラー取り付け位置をそれぞれ微妙に変えることにより、自然な乗車姿勢である自転車の水平さと、軽やかな漕ぎ出しを実現しています。
●肉厚を増し高剛性になった専用大径ローラー、それぞれがフライホイールともなる削り出しのローラーキャップ、耐荷重性能を大幅に上げた大径シャフトの採用により、静粛性の高いどっしりとした重厚感あふれる乗り味を味わえます。
●無段階調節式の前ローラーにより、お使いの自転車に完璧に合わせた妥協のないセッティングが可能です。
●高級感あふれる木製ステップ（足乗せ）を左側フレームに装備しています。

注意すべきこと

3 本ローラーはなんの支えもないローラーの上で、自らバランスを取りながら乗らなければなりません。R800 は構造上、普及レベルのモデルには装着可能な前輪の脱落防止ガードや前フォークを支える補助器具などは装着できません。
そのためこの R800 は、安定して 3 本ローラーに乗れるだけの技術を持った中級者以上向けのモデルであることを、あらかじめご承知おきください。

お問い合わせ先

修理や故障のご依頼の場合は，添付の製品保証規定カードをよくお読みになった上で、まず最初にお買い求めになったショップにご相談ください。

＜販売元＞

株式会社 深谷産業

〒 462-0062　愛知県名古屋市北区新沼町 150
Phone (052) 909-6201 / Fax (052) 909-6212
www.fukaya-sangyo.co.jp

＜製造元＞

株式会社 箕浦

〒 503-2305　岐阜県安八郡神戸町神戸 1197-1
Phone (0584) 27-3131 / Fax (0584) 27-7505
minoura@minoura.jp（営業）／ infodesk@minoura.jp（カスタマーサービス）
www.minoura.jp

日本製

注意していただきたいこと　ご使用になる前に必ずお読みください

●通常の 26 インチ以上の 2 輪自転車で、ホイールベースが 950 ～ 1,080mm のもの専用です。小径車やリカンベント、適用範囲外のホイールベースサイズの自転車では使用しないでください。

● 3 本ローラーは、なんの支えもないローラー上で自分自身でバランスを取りながら乗らなければならない器具です。もし初心者が使用する場合は必ず 3 本ローラーに関する知識を十分に持った人を補助者として付けてください。またいつでも体を支えられるよう、はじめは壁や手すりの近くで使用することを薦めます。落車すると転倒する恐れがあります。まわりに壊れやすいものや危険になるものを置かないでください。

● R800 は必ず水平で平坦な状態で使用してください。やむを得ず緩斜面で使用しなければならない場合は、フレーム下側 6 ヶ所のアジャスタを正しく調整してローラーを水平にしてお使いください。

●ステップ・前輪ガード・負荷装置・前フォーク保持器具・収納バッグなど、すべての弊社製の他の 3 本ローラー用オプション品は構造上 R700 / R800 では使用できません。

●完全組み立て状態で梱包してありますので、箱から出してそのままご使用できます。前ローラー位置の調整などを行なうには M5 六角レンチなど工具が必要です。添付していませんのでご自身でご用意ください。

●可動式の前ローラーは必ず左右とも同じ位置になるように調整してください。左右で異なった突き出し量にしてしまうと前ローラーが斜めになるために、破損・蛇行・異音などのトラブルの原因となります。

●手放し運転・もがき・ダンシングなどは推奨していません。もし行なう場合はご自身のリスクになります。またブレーキは絶対にかけないでください。急激にローラー上から飛び出すことになり危険です。安全に止まるには、ただペダリングを止め、自然にスピードが落ちるのを待ってください。

●高速で回転している車輪や回転部に触れると怪我をします。トレーニング中は小さな子供やペットなどを近づけないでください。またカーペットなどがローラーに触れたり絡みつかないように配慮してください。

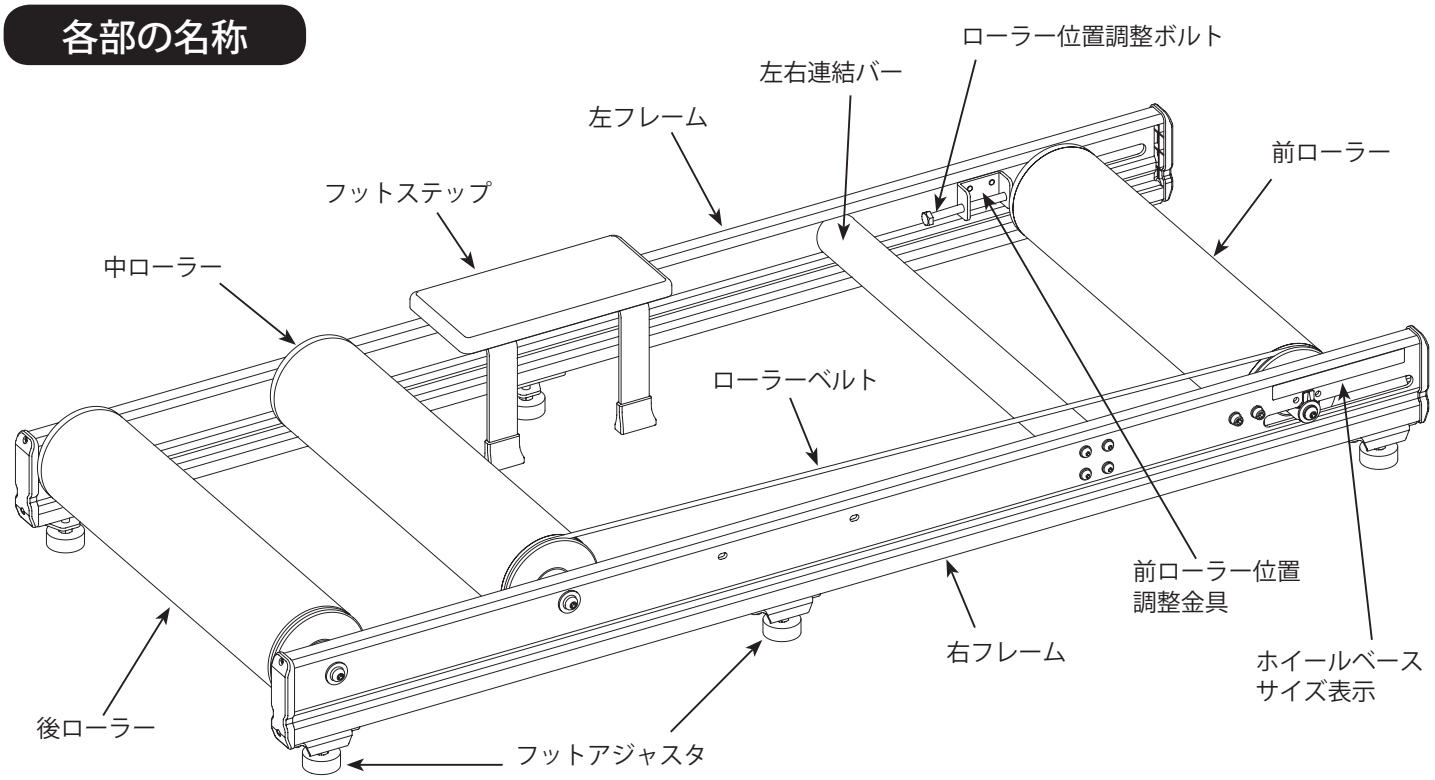
●室内トレーニングでは体に風が当たらないために通常より発汗が多くなり体温が上昇してくることにより、予期せぬ身体トラブルを招いてしまう恐れがあります。トレーニングは自己流では行なわず、必ず専門知識を持ったコーチや医師の助言を得ながら実施してください。扇風機の使用、水分補給をお忘れなく。

●トレーニング中にかく汗やゴム脚キャップによる床やカーペットへの汚れ付着や傷付きを防止するため、できるだけトレーナーの下には専用の防汚防振マットなどを敷くようにしてください。

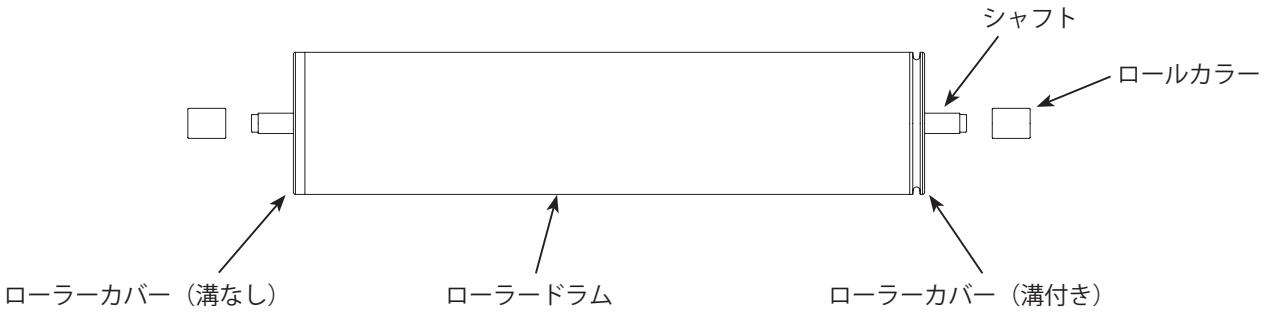
● R800 を使用中にもし異常な音やにおいなどを感じた場合は、すぐに使用を中止し、お買い求めになった販売店にご相談ください。また弊社への事前の相談なく勝手に分解や改造をしようとしないでください。その時点で弊社による製品保証が切れてしまいます。修理は弊社にお任せください。

●弊社は R800 を購入された日から起算して、ローラーには 1 年間、フレームには 5 年間の、メーカー側に瑕疵のあるトラブルに関しての品質保証制度を、最初のユーザのみに限って提供しています。
自然摩耗等や弊社の事前承諾を得ないままの改造を施したものなどは対象外です。詳しくは添付の製品保証規定カードや弊社ウェブサイトをご参照ください。

各部の名称

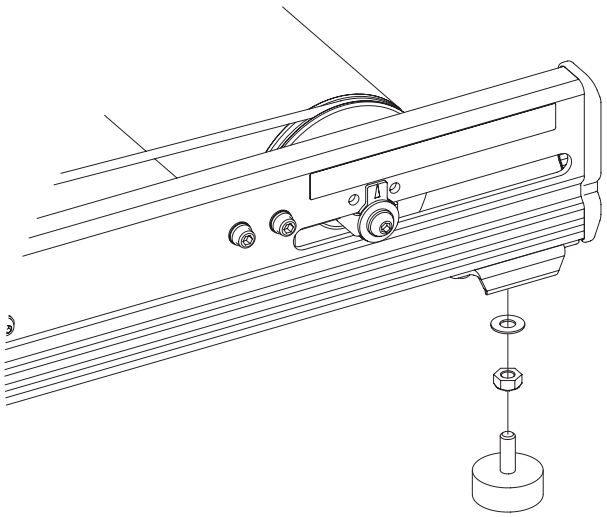


フットステップは左フレームに固定です。右フレームへの付け替えはできません。
ローラーベルトは必ずフットペダルとは反対側になければなりませんので右側に固定になります。ローラーを入れ替えて左側に移すことはできません。



フットアジャスタの調整

必要な工具：　13mm スパナ



フットアジャスタはフレーム底部の板金具にそれぞれ、合計6 ヶ所に取り付けてあります。
すべてのアジャスタが同時に床面に接地した状態でローラーが3 本とも水平になるように、それぞれを微調整してください。

1．フットアジャスタを左回りに回して緩める。
（ボルトを伸ばす）

2．ナットを板金具側にいっぱいにねじ込む。

3．ナットを 13mm スパナで締め込んで固定する。

前ローラーの位置調整

必要な工具：　M5 六角レンチ・13mm スパナ

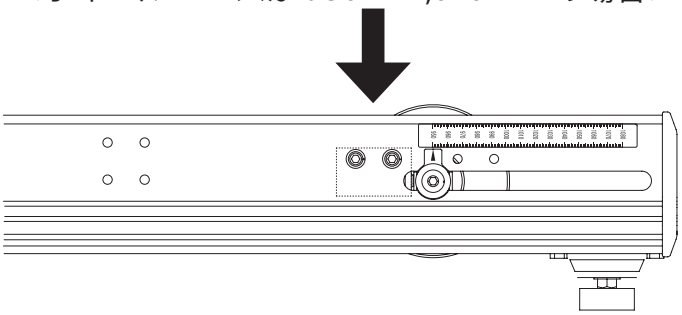
お使いの自転車に合わせて、前ローラーの取り付け位置は前後にスライドさせて調節することができます。
無段階に動かせますので、ミリ単位で好みの位置に合わせることができます。

1 まず R800 を床の上に横たえた状態で、前ローラーのシャフト両端の固定ボルトを緩め、あらかじめ前ローラーを前方にずらしておきます。
続いてお使いの自転車のホイールベースサイズに合わせて、前ローラーの後ろにあるローラー位置調整金具の取り付け位置を付け替えます。金具は 2 本のボルトでフレームに固定されています。
950 ～ 1,020mm の場合は後ろ寄りの位置に、1,020 ～ 1,080mm の場合は前寄りの位置にします。

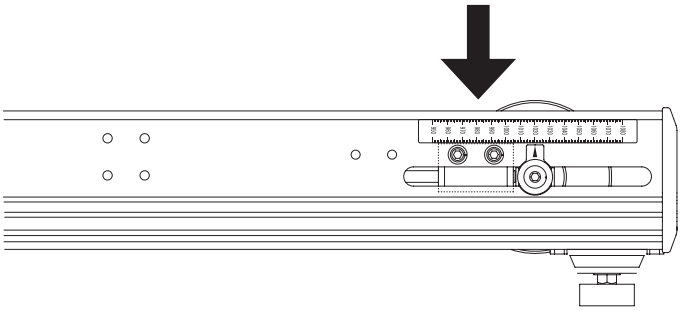
前ローラーの合わせ位置

R800 を使うような中級者以上のレベルであれば、前ローラーはホイールベースぴったりの位置に合わせて構いません。
ただし相当ハンドリングがクイックになるためもっと安定が欲しいという方や、ハンドルに荷重をかけると前方に落ちてしまいやすいという方は、10 ～ 15mm くらい長めの位置（大きな数字の方）へ動かすといいです。

＜ホイールベースが 950 ～ 1,020mm の場合＞

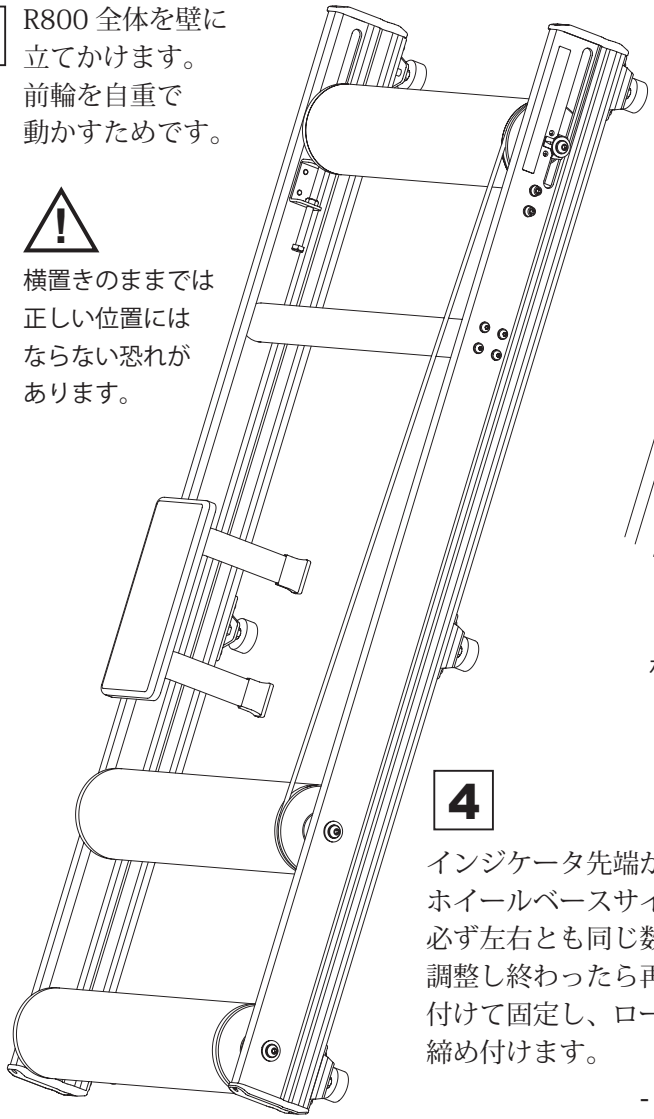


＜ホイールベースが 1,020 ～ 1,080mm の場合＞

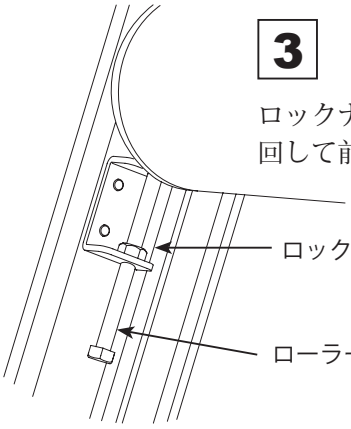


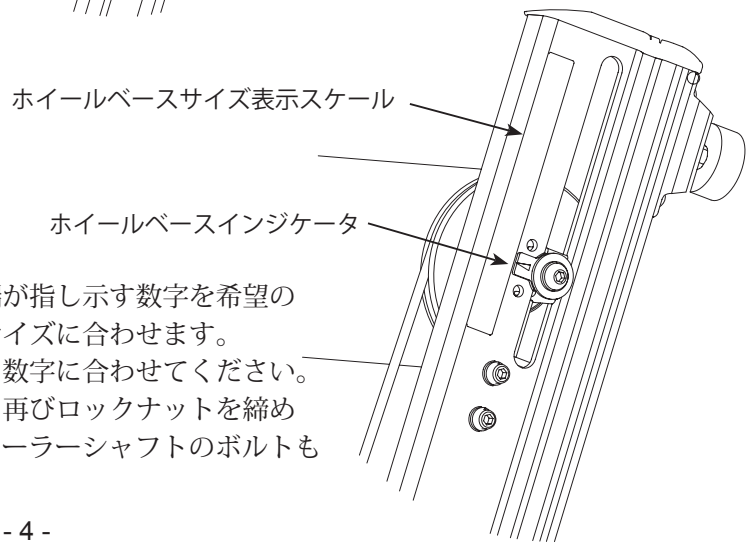
2 R800 全体を壁に立てかけます。
前輪を自重で動かすためです。

⚠ 横置きのままでは正しい位置にはならない恐れがあります。



3 ロックナットをスパナで緩め、ボルトを回して前ローラーの位置を変更します。





4 インジケータ先端が指し示す数字を希望のホイールベースサイズに合わせます。
必ず左右とも同じ数字に合わせてください。
調整し終わったら再びロックナットを締め付けて固定し、ローラーシャフトのボルトも締め付けます。